

「農林技術アカデミー」第15回セミナーのご案内

ハケ岳中央農業実践大学校

校長 大杉 立

大学校から見えるハケ岳の紅葉も真っ盛りを過ぎつつあり、厳しい冬が近づいています。

さて、ほぼ四半期ごとに行われている農林技術アカデミーですが、ここに第15回セミナーをご案内いたします。今回は、「野菜園芸における古い品種と新しい品種」と題して、信州大学学術研究院（農学系）の松島憲一教授にご講演いただきます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時：2022年12月14日（水）13時00分～15時00分
2. 場所：ハケ岳中央農業実践大学校 第一・第二教室
長野県諏訪郡原村 17217-118
3. 方法：講演は対面、聴講は会場あるいはオンライン。
4. 講師：信州大学学術研究院（農学系）松島憲一教授
5. 演題：野菜園芸における古い品種と新しい品種
6. 参加費：500円

講演要旨

野菜園芸の世界で新品種の開発は重要ですが、その品種開発・遺伝解析の手法が最近大きく進展しています。最近の品種開発の動向や演者の行っているししとうの辛味の遺伝解析について紹介します。また、新品種のみならず古い品種も実は重要です。長野県ではこのような古い品種を「信州の伝統野菜」として認定制度により保全をすすめており、演者もその認定委員会座長として伝統野菜の掘り起こし・保全・生産振興などを実施しています。これらの伝統野菜の地域資源、文化財、遺伝資源としての重要性とその動向について紹介します。

松島憲一教授プロフィール

信州大学学術研究院（農学系）教授。1967年大阪府生まれ。信州大学農学部園芸農学科卒業、同大学院農学研究科園芸農学専攻修了後、農林水産省に入り、農林水産技術会議事務局や国際部等の行政部局の他、九州農業試験場総合研究部等に勤めた後、信州大学農学部（大学院農学研究科）に助教として就任。准教授を経て2022年より現職。『とうがらしの世界』（講談社）など著書、論文多数。博士（農学）、信州大学農学部学部長補佐（産官学連携担当）、信州伝統野菜認定委員会座長（長野県）。

参加希望の方は、以下にて、12月13日（火）10時までにご連絡ください。

申し込み方法：**オンライン参加**の場合

- 1) 以下をご記入の上、yatsunou1938@gmail.com までご連絡ください。
 - ・お名前
 - ・ご所属
 - ・連絡先（電話／e-mail アドレス）
 - ・参加方法の別（会場／オンライン）
 - ・参加費支払い方法（郵便振替、ゆうちょ銀行振込、楽天銀行振込、PayPay 払い）
 - ※ 振込手数料はご負担願います。
- 2) 折り返し、登録受付の返信をいたします。
併せて、参加費の振込先口座等をお知らせいたします。
- 3) 参加費のお振込みを確認後、視聴用 URL をお知らせいたします。
(お振込み後の返金は如何なる場合も致しかねますので、ご了承ください。)

申し込み方法：**会場参加**の場合

- 1) 以下をご記入の上、yatsunou1938@gmail.com までご連絡ください。
 - ・お名前
 - ・ご所属
 - ・連絡先（電話／e-mail アドレス）
 - ・参加方法の別（会場／オンライン）
- 2) 折り返し、登録受付の返信をいたします。
- 3) 当日は、八ヶ岳中央農業実践大学校本館 2 階へお越しください。
受付にて、参加費 500 円を現金にてお支払いください。
新型コロナウイルス感染予防のため、手指消毒並びにマスクの着用をお願いいたします。